数矢小学校は、こんな学校です



江東区立数矢小学校
校長　　澤田　純二

数矢小学校は、こんな学校です

- 教室数　通常２６（令和９年度は２５）
- その他　音楽２　図工２　理科　家庭科
  算数２　英語　他
- 運動場　第１校庭　第２校庭　体育館
- プール　２５ｍ４コース
- 児童数　７８１名（１０月現在）
- １，２，３，６学年４学級　４，５学年５学級
- 主な学校行事、沿革史　・・・ＨＰ参照

江東区立数矢小学校は、令和９年度、開校115周年を迎えます。学区域には親子３世代にわたる在校生、卒業生も多く、地域に根ざした学校環境の中で、保護者・地域の多大なる協力を得ながら学校の教育活動を進めています。令和7年度よりコミュニティ・スクールとなり、「地域で学び、地域を生かし、地域と行動する」を合言葉にして教育活動に取り組んでいきます。

令和8年度　江東区立数矢小学校 学校経営グランドデザイン（案）

20260401
江東区立数矢小学校長　澤田 純二

私たちは、こどもたちが夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となることを目指し、
①自ら学び考え行動する力 ②困難を乗り越える力 ③人権を尊重し他者を思いやる力
④社会へ主体的に貢献する力 ⑤他者と協調・協働し人間関係を形成する力
の5つの力を育むために、以下の3つの行動指針に取り組みます。
①「生きる力」を育む「知」「徳」「体」の調和がとれた教育 ②一人一人を大切にし、個性を伸ばす教育
③学校・家庭・地域が連携し、こどもたちの成長を支える環境づくり

江東区教育委員会 ～江東区教育理念～

テーマ1 学び・育ち ①確かな学び ②豊かな心 ③健やかな体
テーマ2 自分らしさ ④個に応じた教育 ⑤丁寧な教育相談
テーマ3 環境 ⑥施設の整備・充実 ⑦安全安心・居場所づくり
テーマ4 つながり ⑧地域・家庭 ⑨学校・教員 ⑩図書館・大学・企業など
4つのテーマを支える教育のICT化
①情報活用能力の向上 ②新たな教育手法の確立 ③学校運営の効率化

教育推進プラン江東 Action24
「みんな、かがやく！」教育環境・教育活動
KOTOこどもかがやきプラン　働き方改革
個別最適化した教育・支援の充実
CSの拡充と地域学校協働本部の充実
教育DX・ICT教育　図書館と学校連携
江東区こどもの権利に関する条例



学校の特性・実態
○児童の実態　○地域の特徴と実態
○家庭の実情と保護者の願い
○教職員組織の実態

数矢小学校教育目標
人や自然との関わりの中で、未来を拓くための資質や能力を育み、共に支え共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。　○たくましい子　○響き合える子　○よく考える子

法令遵守の学校経営
○日本国憲法　○教育基本法
○学校教育法　○学習指導要領
○国、都の教育目標　○管理運営の規則 等

めざす子供像
○たくましい子　たくましい心と体をもち、生きる力のある児童
◎響き合える子　創造的なコミュニケーション能力のある児童
○よく考える子　問題解決力のある児童

学校運営
○学年担任制、副担任、学級編成
○安全対策（管理、交通、不審者対策等）
○適正予算・会計の計画と執行
○教育環境整備とユニバーサルデザイン
○組織・分掌の明確化、教科担任制
○教職員のライフワークバランス、健康
○週案による進行・時数管理、会議の充実
○開かれた学校（情報発信）・学校評価
○組織的な特別支援教育と不登校対策

学校経営目標（めざす学校像）
○将来にわたって自分のあり方を問い、自らを高め続け、夢や希望をもち、たくましく生きる力をもつ児童を育てるコミュニティ・スクール
○命や平和の大切さを考えることのできる力をもち、人にも、地球にも、思いやりをもって行動できる心豊かな児童を育てる安全・安心な学校
○変化の激しい社会を生き抜くための価値基準をもち、知恵を働かせて問題解決ができる力をもつ児童を育てる楽しい学校

めざす教職員像
○資質向上に努め、創造性豊かに挑戦し続ける教職員 Challenge Wednesday
○教育的愛情をもち「児童の資質能力の向上」の視点で判断する教職員
○一貫性と継続性を重視して、学校経営に参画する教職員
○規範意識をもち、組織の一員として力を合わせて取り組む教職員（服務事故0件）

たくましい子を育てるために

○自己肯定感とストレス耐性を高める学習
・ストレス耐性を高める我慢や努力の経験
・自己肯定感を高める生徒指導上の評価と指導の一体化、保護者連携 他

○キャリア教育の推進
・児童の主体的な学級作り、協働的な問題解決
・専門家や企業と連携した活動 他

○安全教育の推進
・登下校指導、集団行動指導、セーフティ教室
・「自助」「共助」「公助」を学ぶ、避難訓練
・地域班による地域と連携した防犯・防災 他

○体育科授業の充実
・問題解決的な体育科授業の推進
・協働的な学びと集団行動
・Chromebook活用による評価 他

○スポーツライフの実現
・生活スキルを高める（早寝早起き朝ご飯等）
・保健指導の工夫、食育・栽培活動
・休み時間を活用した体力向上・環境面の充実
・児童や学校の実態に即した体育的行事
・日常的なストレッチ体操・体幹トレーニング 他

響き合う子を育てるために

○人権尊重教育の充実
・人権尊重の理解と行動・他者の立場に立って想像力を働かせて共感
・挨拶運動・相手を意識した返事、話し方聴き方 他

○全力で取り組み、充実感を高める活動
・授業や行事における交流活動・人間関係を築くたてわり班活動
・計画的、主体的、協働的な委員会や係活動、ボランティア活動 他

○考え議論する道徳の工夫
・道徳的な価値観、判断力の育成
・心情、実践意欲、態度を育てる具体的な取り組みの充実 他

○いじめの未然防止、早期発見、早期対応
、児童がきまりについて考える活動を通して善悪の判断・いじめや暴力行為を許さない学校風土・指導記録を活用した全校的な指導体制 他

○多様性を認める心のレガシー
・スポーツを共に挑戦、ルールの順守、克服し楽しむ学習 「おもてなしの心」他

特色ある教育活動
コミュニティ・スクールとして ～かずやSDGs～

ねらい
6年間を通して地域学習を進め、SDGsを目標とし、持続可能な地域社会をつくる資質能力の基礎を培い、地域を愛し、地域を誇りに思う児童を育てる。

学習の内容
・地域教材・人材開発
「人情と信仰の町」
「木材と粋の町」
「文化と憩いの町」
・SDGsを日常化
国際デーの紹介等

学習の方法
・探究学習とICT活用
・各学年年間一実践
・学習発表会で発表

地域連携部
・実践計画
・日常化推進
・学習発表会運営

CSかずや応援団の活用

よく考える子を育てるために

○知恵を働かせて問題解決力の向上
・個別最適な学び、主体的・対話的学び
（つかむ →追究する・まとめる→いかす）
・ICT活用、情報スキル、正しく使う情報モラル
・効果的なカリキュラムマネジメント 他

○自ら学びを調節する力の向上
・振り返りと自ら学びを調節する力
、机間指導、指導記録を活用した形成的評価
・得意を伸ばす指導 他

○基礎的・基本的な知識・技能と定着率の向上
・こうとう学びスタンダードと学習規律の徹底
・複数体制による指導（SD講師、学習支援員）
・かずやタイムとスタンダードタイムとによる理解と定着、習熟
・家庭学習（基本的な学習習慣、自己管理能力）とChallenge Wednesdayの充実 他

○言語活動を重視・対話的な学習と表現力
・聞き方、話し方（発言）指導「はい、立つ、です」
・「Speak Up！プログラム～みんなかがやく～」
・図書館活用や読み聞かせによる読書指導
・書く力を高める指導を工夫する。
・字を速く、正確に、丁寧に書く指導・俳句教育
・英語力を高めるALT等活用・マイ辞書活用 他

教育目標

人や自然との関わりの中で、未来を切り拓くための資質や能力を育み、共に支え、共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

○ たくましい子
◎ 響き合える子
○ よく考える子

文科省が目指す「生きる力」は、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力からなるものです。
本校の教育目標および目指す児童像もこれに習って、上記のようにしています。

学校経営目標（めざす学校像）

- 将来にわたって自分のあり方を問い、自らを高め続け、夢や希望をもち、たくましく生きる力をもつ児童を育てるコミュニティ・スクール

- 命や平和の大切さを考えることのできる力をもち、人にも、地球にも、思いやりをもって行動できる心豊かな児童を育てる安全・安心な学校

- 変化の激しい社会を生き抜くための価値基準をもち、知恵を働かせて問題解決ができる力をもつ児童を育てる楽しい学校

よく考える子

自ら学ぶ

問題解決の力　自ら学習を調節する力





「よく考える子」です。令和８年度も、問題解決力を育成するために、「自ら学びを調節する力」を重視していきます。特に今年度は、「ＩＣＴ教育推進校」「デジタルを活用したこれからの学び推進実践校」として、個別最適な学びと協働的な学びを充実させていきます。

よく考える子

知恵を働かせて自力解決、問題解決力の向上

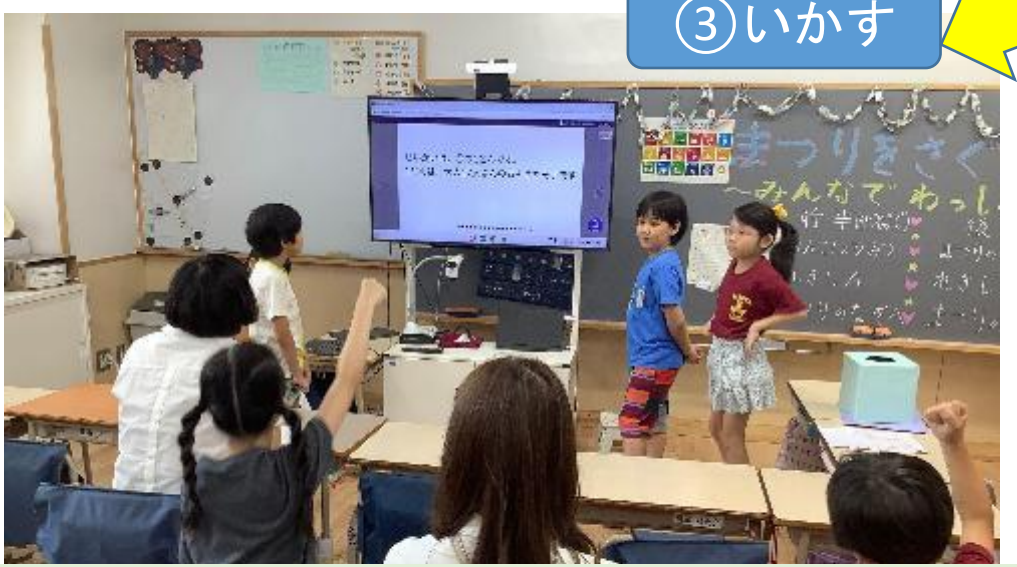
・個別最適な学び
　主体的･対話的な学び



①問いをつかむ



②追究し
まとめる



③いかす



問題解決学習を繰り返すことで問題解決の力が身に付いてきます。
①問い（課題）をつかむことが大切です。
②体験的に追究し、調べたり、考えたりして、対話的に学び、まとめます。
③考えたことを表現（提案）、活用（行動化）します。

よく考える子

知恵を働かせて自力解決、問題解決力の向上

・プログラミング的思考力
・見方・考え方を働かせる
・カリキュラムマネジメント







「追究し、まとめる段階」、つまり、知識を得たり、技能を身につけたりする段階では、体験的に学ぶ中で、見方・考え方を働かせることが重要です。写真は、２年生の図書館探検、３年生のスーパーマーケット見学、６年生の日光移動教室です。

よく考える子

基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着率の向上

学び方スタンダード

学び方スタンダードとは、学力向上を図るうえで、確かに身に付けさせたい学習習慣等を示したものです。



- □ 持ち物　前日に必要な学習用具を準備します
- □ 着　席　授業の始まりの時間を守り、席に着きます
- □ 挨　拶　授業の始めと終わりにあいさつをします
- □ 姿　勢　背筋を伸ばした姿勢で座ります
- □ 話し方　声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します
- □ 聴き方　話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
- □ 返　事　（小・義前）名前を呼ばれたら「はい！」と返事をします
- □ 提出物　（中・義後）提出物の期限を守ります
- □ 家庭学習　（小・義前）学年ごとに時間を決めて、家庭学習に取り組みます
  （中・義後）自ら計画を立てて、家庭学習に取り組みます

江東区教育委員会では、区内全小中学生が必ず身に付ける内容を「こうとう学びスタンダード」として示し、小学校は学び方・体力・国語・算数・英語　他のスタンダードに取り組んでいます。

よく考える子

基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着率の向上

・学習規律の徹底
・読む活動の工夫による読解力向上「よむYOMU」活用
・算数科における習熟度別少人数指導、SD講師連携









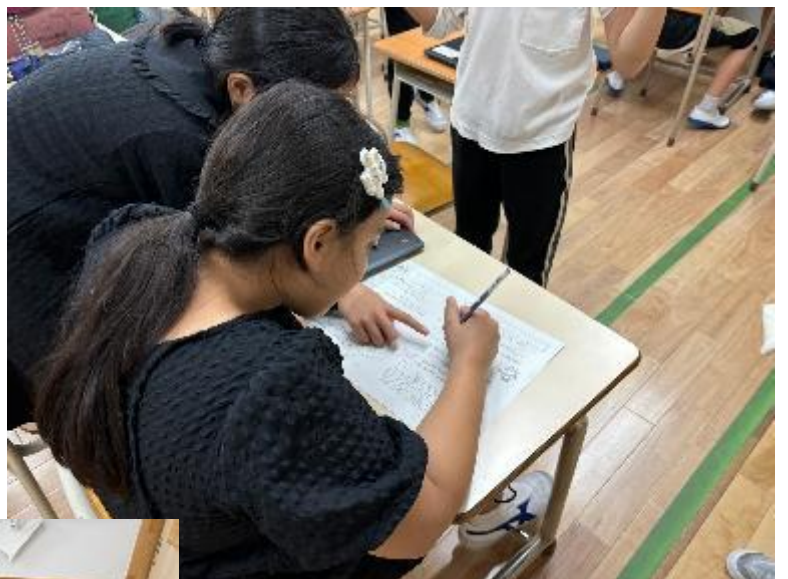
スタンダード強化講師の活用は、体育、国語、算数、英語他の、各教科で成果を上げています。
算数科では、担任、算数少人数担当教諭、スタンダード講師で４学級６展開で授業を行っています。
Ｔ１、Ｔ２で行うこともあります。

よく考える子

基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着率の向上

・スタンダードタイム（習熟）
・数矢タイム（理解と定着）
・放課後学習教室
・家庭学習
・Challenge Wednesday









学習面を手助けしてくれる「放課後教室」もこどもたちの学びの助けとなっています。

「ことばの力」を
つかえるようになる





よく考える子

言語活動を重視・対話的な学習の質と表現力の向上

・聞き方、話し方
・コミュニケーションスキル・トレーニング
・図書館活用や読み聞かせによる読書指導
・英語でのコミュニケーション力を高める（ＡＬＴ等活用）



学習発表会でのＰＲ



英語でのコミュニケーション



音読・朗読

こうとう学びスタンダードを使った学習や言語活動等を学習に加えて習熟から活用を目指します。音読や朗読の表現活動を重視してきたことから、本校児童の発表力、表現力の蓄積が進み、学習発表会ではその力が発揮されました。んでいると言えます。聞く力や話す力、英語でのコミュニケーションン力を高めることも重要です。そうすることで、学力向上を目指していきます。

よく考える子

言語活動を重視・対話的な学習の質と表現力の向上

・「Speak Up ！プログラム～みんなかがやく～」を実践
・書く指導
・書写指導の工夫
・マイ辞書活用
・俳句教育



優れた俳句の表彰

江東区では、「こうとう学びスタンダード」国語スタンダード項目の一つとして「季節を感じ、俳句に親しみます」の項を小中学校で取り上げています。本校では、松尾芭蕉ゆかりの地で学ぶこどもたちとして、言語能力を高めるとともに、俳句の良さを通して感性を磨き、思いやりの心を育てていくことがねらいです。季節ごとの句会や投句も行っていきます。

よく考える子

令和８年度　全国学力学習状況調査（6年生）の結果より

平均正答率(%)

	国語	算数
数矢小学校	74	75
東京都(公立)	65	63
全国(公立)	60.9	56.4

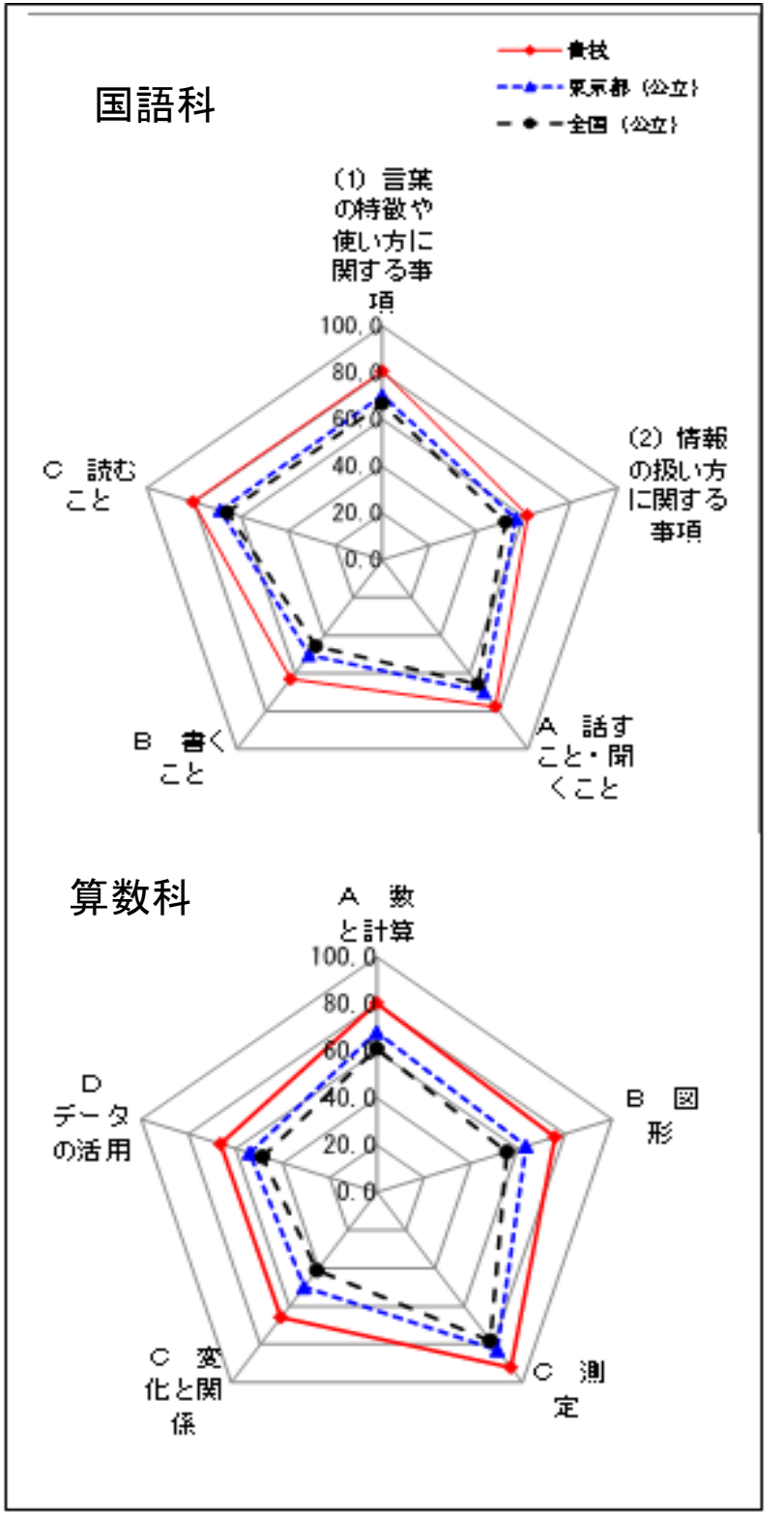
〈結果の概要〉

国語科、算数科ともに、全国や東京都の平均を大きく上回っています。

問題別で分析すると、国語科では、継続して重視している「（１）言葉の特徴や使い方に関する事項」を中心とした言語事項は、いずれも８０％前後の高い正答率が得られています。

算数科では、「Ｄデータ活用」による思考力の高まりが見られます。

自分に関するアンケートでは、ＩＣＴ・情報活用関係の質問には90%のこどもたちが自信をもっていることから、本校がこれまで進めてきた個別最適な学びや協働的な学びの成果が表れていると考えます。



たくましい子

心も体も
たくましく







目指すのは、持続可能な地域社会の担い手としての資質・能力を身に付けようとする心も体もたくましい児童です。自己肯定感やストレス耐性を高めていきます。

たくましい子

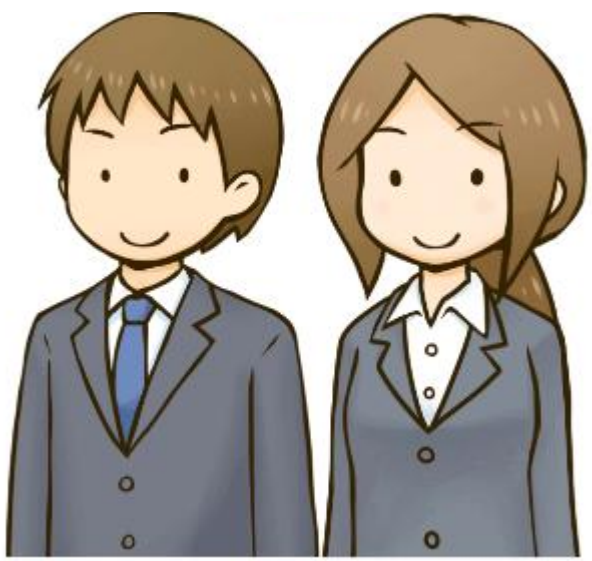
自己肯定感とストレス耐性をバランスよく高める学習

こどもの自立を見守る・・・保護者連携



- こどもの問題を大人が解決しない
- ストレス耐性を高める（我慢も）
- 価値観を共有する（おしつけない）
- 気持ちを理解し合う（よりそう）
- コミュニケーションを大切にする
- 多くの人と交流する機会をつくる

自己管理能力
生活スキル
規範意識
形成的評価



成長…
就職…
自立…

たくましい子

キャリア教育の推進

・児童の主体的な学級づくり、協働的な問題解決
・社会貢献で喜びをもつ勤労・奉仕活動
・専門家や企業と連携した活動
・キャリアパスポートの活用
・金銭金融教育・租税教室



主体的な学年・学級づくり



５年海事広報授業

主体的な学級づくりをこどもたちが進められるようにしていきます。また、専門的な知識をもったコミュニティ・ティーチャーや企業や官公庁と連携した授業は、こどもたちのキャリア形成に効果的です。

たくましい子

安全教育の推進

・「数矢のきまり」を守って、安全に行動
・登下校指導や集団行動等による安全判断力
・セーフティ教室や避難訓練による危機回避能力
・自助・共助・公助、課題対応能力（地域連携）
・地域班による地域と連携した防犯・防災





交通安全教室



自転車安全教室





交通安全教室や自転車安全教室（3年生）では、警察や安全協会の方にご指導いただきます。地域の自転車屋さんにも来ていただいて、無料で自転車の点検・整備を行っていただいています。

たくましい子

体育科授業の充実

・行事や運動環境を考えた年間計画
・問題解決的な体育科授業の推進
・運動時間の確保（見学者はレポート）
・協働的な学びと集団行動
・Chromebook活用による評価



運動会





連合運動会

年間計画に沿って、問題解決的な体育科授業を推進していきます。運小津次官を確保し、協働的な学びや集団行動にも取り組みます。その成果は、運動会や連合運動会などの行事にも表れています。

たくましい子

スポーツライフの実現



保健指導・体力向上・食育等、総合的に健康教育を推進することで、生涯にわたり心身共に健康な生活を送るための基礎を培います。一人一人の児童に適した体力向上を日常化したり、外遊びを充実させたりします。また、性教育や薬物防止授業など保健指導を効果的に進めます。「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底と「体幹」をつくることは家庭と連携していきますです。

- 生活スキルを高める（早寝早起き朝ご飯等）
- 保健指導の工夫、食育・栽培活動
- 休み時間を活用した体力向上・環境面の充実
- 児童や学校の実態に即した体育的行事
- 日常的なストレッチ体操・体幹トレーニング





たくましい子

不登校対策、教育相談、特別支援教育

校内委員会



小一支援員
学習支援員



ひまわり教室
（特別支援教室）



各教科個別指導
自立活動

ほっとルーム



特別支援教育は、校内委員会を中心にスクールカウンセラーや区の関係諸機関と連携して充実を目指しています。小一支援員や学習支援員、特別支援教室専門員の役割も重要です。不登校対策も不登校対策委員会を中心にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）、区の関係諸機関と連携して一人一人に合わせた対策考え、実施しています。「ほっとルーム」をつくり、別室登校が充実できるようにしました。

響き合える子



つながる

学年・学級づくり
たてわり班
地域　ＳＤＧｓ

人権を大切に
ことばづかい
コミュニケーション



「つながる」が今年度のテーマです。思いやりのある子どもたちですが、さらに、人権尊重教育に重点を置き、様々な取り組みによってコミュニケーション能力を高め、自他のよさを認められるようにしていきます。

響き合える子

人権尊重教育の充実

・人権の理解と行動、学校の風土づくり、平和教育、
　ユニバーサルデザイン、ＩＧＢＴＱ学習
・挨拶運動の実施、相手を意識した返事、
　話し方や聴き方、日常的生徒指導、
・家庭や地域との連携・相手を意識した返事、
　言葉遣い、話し方等・SOS出し方教育



ユニバーサルデザイン授業

心のはい おあしす運動

はい
おはようございます
ありがとうございます
しつれいします
すみません



挨拶は思いやりの心を育てます。本校では、年間を通じて「心のはいおあしす運動」を実施し、全校で声掛けや指導を徹底しています。昨年度は「あいさつチェック表」で自己評価もしました。　また、ユニバーサルデザインを取り上げた学習などで人権感覚を高めていきます。

あいさつチェック計算表

9月		A	B	C	得点
1日	月	200	5	76	686
2日	火	5	3	300	321
3日	水	7	4	200	229
4日	木	12	2	200	240
5日	金	56	9	183	369
				合計	1845

あいさつ運動
心のはいおあしす運動

響き合える子

全力で取り組み、充実感を高める活動

・より良い人間関係を築くたてわり班活動
・主体的な委員会、係、当番活動
・自己有用感を培う協働的な活動、
　ボランティア活動、清掃活動を推進


たてわり班全校遠足


長なわチャレンジ


代表委員会

　たてわり班活動は児童のより良い人間関係を気付く力、リーダーシップやフォロアーシップ、集団として行動する際の社会性など育てていきます。委員会活動やクラブ活動では、児童の主体的な活動から充実感を高めます。

響き合える子

考え議論する道徳

・道徳的な価値観、判断力の育成
・心情及び実践意欲と態度を育てる具体的な指導
・道徳授業地区公開講座で家庭と連携

　道徳授業地区公開講座では、令和７年度は「いじめ防止」について考え、弁護士などの専門家からもお話を伺います。令和８年度は、



６年 弁護士によるいじめ防止授業

響き合える子

いじめの未然防止、早期発見、早期対応

・児童が「きまり」について考える活動と善悪の判断の共通指導
・いじめや暴力行為を許さない学校風土
・指導記録による教育相談等の充実・連携

令和６年４月１日
江東区立数矢小学校
校長　　澤田　純二

江東区立数矢小学校いじめ防止基本方針

いじめ防止対策推進法第１３条に基づき、本校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定める。

※ いじめの定義（いじめ防止対策推進法第２条）
「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

１　いじめ防止等の基本的な考え方

(1) いじめに対する基本認識

いじめは、いじめを受けた児童・生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであり、人として決して許されない行為であるという、いじめに対する認識を全教職員で共有する。いじめ防止対策推進法第４条では、「児童等は、いじめを行ってはならない。」（いじめの禁止）と規定されている。

そして、「いじめは、どの学校・学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童・生徒はいない」という共通認識に立ち、児童・生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにするため、いじめ防止対策推進法第８条に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。

(2) 学校及び学校の教職員の責務（いじめ防止対策推進法第８条）

学校及び学校の教職員は、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの未然防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

※特に、いじめを受けた被害者に寄り添った対応を行う。



みかたになる
たすける





みんな
なかよし

ごめんね



心も体も未熟なこどもたちは、間違いをします。それが「いじめ」という形で出ることもあります。いじめ防止基本方針をもとに、早期発見、早期対応に努めていきます。

響き合える子

多様性を認める心のレガシー

・スポーツを共に楽しむため、挑戦する、ルールを守る、克服する学習・環境教育
・おもてなしの心を学び、エチケットを高める活動
・ボッチャ大会、スケート体験教室等

相撲教室







ボッチャフレンドリーマッチ

スポーツを共に楽しむため、挑戦する、ルールを守る、克服する学習を進めます。2年生は相撲教室を行いました。中休みには相撲好きのこどもたちを集めてデモンストレーションを見せてくれました。ボッチャも取り入れ、楽しみながら多様性を学んでいます。

響き合える子

日光移動教室・岩井臨海学校等　宿泊行事











主体的な学年・学級づくりを目指します。共同生活の中では様々な問題が生まれます。その問題解決をしていく過程は、互いのことを思いやる気持ちを培うとともに、成功体験での自信が、自己肯定感を高めるとても大切な時間となっています。今年度より、江東区が費用を負担します。

数矢小学校の特色ある教育活動

地域を活かした学び

コミュニティー・スクール





持続可能な地域社会の一員としての資質能力を育てる

令和８年４月１日

数矢小学校コミュニティ・スクール「CSかずや応援団」

江東区立数矢小学校

校長の基本方針（説明／承認）

学校運営・教育活動（説明／承認）

江東区教育委員会

委員の任命

評価

地域住民の参画

共有

青少年委員
民生児童委員

保幼小中連携

きっずクラブ

子供会

学校運営協議会

委員（評価委員・地域コーディネーター兼務）
（１）保護者
（２）地域住民
（３）学校の運営に資する活動者
（４）学識経験者
（５）学校長

主な役割
・学校運営に関する基本方針の承認
・校長から求められた事項の審議
・運営に関する事項について意見具申
・職員の任用に関する意見具申
・「かずや応援団」運営

学校評価委員

町会

同窓会

やばね会

地域学校協働本部「かずや応援団」

地域コーディネーター（かずや応援団運営）

連携

協議

協働

数矢小学校ＰＴＡ

・ＰＴＡ役員・かずやSDGs部・広報部
・児童スポーツ支援部・行事運営部・校外部

学習支援

・地域人材、教材支援
・各教科、領域の活動補助
・行事手伝い
・登下校安全支援
・スポーツイベント

環境支援

・花壇管理（花いっぱい活動）
・図書室整備（図書ボラ ）
・作業補助
・広報（ＰＴＡだより
かずや応援団だより）

特色ある教育活動

第1学年生活科「もうすぐ２年生」





　生活科「もうすぐ２年生」の単元では、地域の保育園や幼稚園のこどもたちと交流をします。

特色ある教育活動

第２学年 生活科「まちたんけん」







　第２学年では、「まちたんけん」という生活科で、身近な人々に対する気付きに重点を置き、地域のお気に入り施設や、もっと知りたいことについて、その施設の方にインタビューを行い、施設の秘密やそのよさに気付くようにしました。国語科の学習で培った資質・能力を生かして、地域の方と関わりや対話を広げることができるようにしていきました。相撲教室も同様です。かずや応援団の皆さんが、地域の皆さんと繋いでくださいました。

特色ある教育活動

３年木材会館見学　木工教室







　３年生は「木はかせ」になるための学習をします。そのため、木材会館の見学は重要です。やばね会の方を中心に、木材会館の方々が丁寧に教えてくれます。木場の町らしい行事です。また、やばね会のみなさんが、毎年、木に親しむことをねらいとして木工教室を開いてくださいます。こどもたちは熱心に、楽しそうに作品作りに取り組んでいました。

特色ある教育活動

かずや応援団　花いっぱい活動





保護者の仲間作り

校庭の周りにお花の植栽コンテナを置き、理科の授業支援などの活動を行っています。
２０２３年１１月１２日には、参加者を募り、有志の親子14組にご協力いただき、卒業式、入学式シーズンに向けて学校が華やかになるようにプランターに花の苗植えを行いました。
今後もこのような活動を通して、土に触れる機会、親子いっしょに苗を植えるといった機会を作っていきたいと考えています。

特色ある教育活動





ＰＴＡ活動







江東区

朝の児童の居場所づくり事業
利用案内（数矢小学校）

利用にあたり予約は必要ありません。

【受付】午前７時 30 分から（最終受付：午前７時 50 分）

① 保護者は児童に付き添い、一緒に登校。
② 校門にいる見守り員に「利用者登録証」を提示。
③ ②確認後、保護者が名簿に〇を記入。
④ 児童は※それぞれの昇降口の下駄箱から自身の上履きを持って、実施場所へ移動。



【見守り】午前７時 30 分から午前８時まで

児童は読書や自習（宿題を除く）、他の児童と会話を楽しむなど、教室と同じように静かに過ごします。遊具を使用した遊びはできません。

めざす教職員像









学校教育目標を達成するため、数矢小学校の教職員は日々、研究・研修をし、努力しています。写真は、学年会や教材研究・授業研究、研修をする教職員です。

ありがとうございました。



江東区立数矢小学校

校長　澤田　純二

